



榊原病院 Monthly

Vol.41
2020.April

独立行政法人国立病院機構 榊原病院
National Hospital Organization SAKAKIBARA Hospital

院長

村田 昌彦(むらた まさひこ)
1962年生まれ
1991年富山医科薬科大学医学部卒
1996年同医学部大学院卒
2014年国立病院機構北陸病院精神科部長
2015年国立病院機構榊原病院副院長を経て、2018年国立病院機構榊原病院院長就任。
日本司法精神医学会理事。



診療科

- 一般精神科
- アルコール・薬物依存症
- 専門外来
- こころのリスク外来

病床数 176床

- 精神科病棟 158床
- 医療観察法 18床
- 認知症ユニット

病院理念 この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

副院長就任にあたって

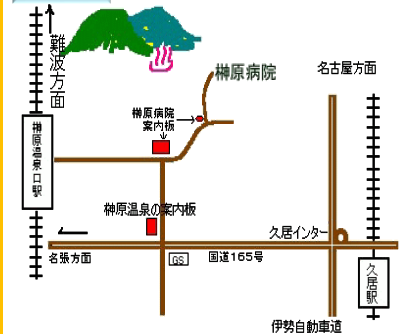
副院長 山本暢朋

令和2年4月付で副院長を拝命した山本暢朋です。45歳の若輩ですが、病院の様々な部署と連携しながら、勤めを果たしていきたいと考えております。

私が当院に赴任したのは平成24年10月でしたが、その時は常勤医が私しかおらず、三重大学や三重県内の精神科病院、他の国立病院機構の病院から医師を派遣していただき、何とか最低限の病院機能を維持しているような状況でした。潮目が変わったのは、琉球病院院長である村上優先生が、当院に院長として赴任されたことです。村上先生の指導のもと、一般精神医療に加え、治療抵抗性統合失調症患者への医療、医療観察法病棟や司法精神医療、依存症治療といった、質の高い医療が整備されていきました。村上先生は、さいがた医療センターに異動されましたが、私としては、村上先生が残してくださった医療を維持し、またそれを超えていく医療を、地域に提供できればと考えています。

我が国は恐ろしい勢いで少子高齢化が進展しており、当地域も例外ではありません。人口減に加え社会保障費も増加し続けており、病床削減の動きも加わり、精神科医療を取り巻く環境は、大変厳しいものがあります。また、AIの進歩も目立っており、将来的には、私どもの仕事の一部分が、AIに代替されるのかもしれませんが。医療が高度化するにつれ、各職種の専門性が高まり、多職種との連携が重要性を増しています。当院の強みの一つはチーム医療が充実していることですが、多職種はもちろん、行政や院外の諸機関との連携も強化していくことで、地域のニーズに応え、あるいはニーズを創出していくような病院づくりができればと考えております。

どうぞよろしくお願い申し上げます。



電車・バス/ 近鉄久居駅下車、三交バス(榊原温泉口駅行)にて約30分。榊原口バス停下車徒歩約10分。

自動車/ 久居インター(伊勢自動車道)より西へ約20分

マイクロバス/ 久居駅より直通バス(約25分)

トピックス

行事・出来ごと

- 令和2年1月26日、市民公開講座開催
- 令和2年2月21日、医療観察法ネットワーク研修開催
- 令和2年5月23日、市民公開講座「ギャンブル問題とその対応」開催予定 於：三重県人権センター
(中止となりました)

教育・研修

- 令和2年1月17日、自閉症・発達障害研修会開催(於：三重県総合文化センター)
- 令和2年1月22日、三重県難治性精神疾患ネットワーク研修会・症例検討会(YOU-C-C)開催

地域医療連携室だより

〈医療福祉相談のご案内〉

経済的な心配、福祉サービスの利用、退院後の生活など病気によって生じた生活上の困り事について、精神保健福祉士がご相談に応じます。相談をご希望の方は、主治医、看護師及び医事受付まで申し出てください。

訪問看護ステーション

令和元年6月に「ゆうはあと訪問看護ステーション」を開設しました。利用者様が地域で安心して暮らしていただけることを目標として訪問看護を提供しています。症状の観察や相談・お薬の管理・通院継続の支援・対人関係・コミュニケーションへの支援など、心身の回復のお手伝いを目的として行っています。

私たち「ゆうはあと」は、あなたの療養、そして暮らしを支えます。少しでも豊かに、少しずつ豊かになりますようにここで支えます。

治療抵抗性精神疾患への医療

〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、令和2年3月までに全症例は101例となりました。新規導入は1月2例、2月3例、3月3例でした。順次投与を開始する予定です。クロザピン通院専門外来も開設しております。



認知症医療・アルコール・薬物依存医療・こころのリスク外来

〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に認知機能が低下することや、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害は、若年の方にも見られます。したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方に認知症が発症する傾向が多く見られます。身体的な問題については、三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状（BPSD）に対応しています。一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。

〈アルコール・薬物依存医療〉

適正な飲酒量とはどの程度かご存知でしょうか。「節度ある適度な飲酒」とは、純アルコールで1日約20グラム程度、つまり日本酒なら1日1合、ビールなら大瓶1本だけなのです。日本酒3合では健康に悪影響の出る「多量飲酒」（健康日本21）と言われてます。もし減らすことが難しいという方がおられましたら、外来・入院での治療プログラムにてご協力させていただきます。お一人で、ご家族だけで、悩みを解決しようとするのではなく、まず専門スタッフへお気軽にご相談下さい。ご自分だけで抱えずに相談することが、病気を回復する第1歩です。

〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われてます。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。



デイ・ケア案内

デイケアが1階に引っ越しました。新しいデイケアは、以前よりも病院玄関から近くなり、参加しやすくなりました。

デイケアは毎週木曜日を除く平日の9時30分から15時30分までオープンしています。人気の高いプログラムは散歩や調理です。最近では創作の時間にマスク作りも行っています。SSTや認知行動療法等の毎日の生活に役立つ心理プログラムもあります。外来にデイケアパンフレットと毎月のプログラムを置いています。またプログラムは当院ホームページでもご覧いただけます。見学はいつでもできますので、興味のある方は主治医や病院職員に声をかけてください。

※SSTとは・・・「ソーシャルスキル・トレーニング」の略です。



(左) 調理プログラムでパンを焼きました。カレーパンとレーズンパンです。焼きたてはとてもいい香りがしておいしかったです。

(右) 榊原地域の桜を見に、何度も散歩に出かけました。春をいっぱい楽しんでいます。

栄養コラム



《 「甘さ控えめ」という落とし穴 》

コーヒー牛乳などのパッケージで、「甘さ控えめ」という表示があると、体によいと思ってついそちらの方を選択されるかたもいらっしゃるのではないのでしょうか。

しかし、これには落とし穴があります。

「甘さ控えめ」とは味の表現になっており、以前のコラムでご紹介した栄養表示基準の対象になっていないため、作り手側が自由に表現することが出来ます。あるメーカーの「甘さ控えめ」のコーヒー牛乳を例にとってみると、「甘さ控えめ」でも実際には200ml（コップ1杯分）でスティック砂糖5本分程度が含まれています。まずは、商品のカロリー表示（エネルギー）を確認してみましょう。

帰ってきた！～健康睡眠12ヶ条～（本稿は榊原病院Monthly Vol.27～39の再掲です）

第二条 適度な運動、しっかり朝食、ねむりとめざめのメリハリ

- ・ 定期的な運動や規則正しい食生活は、よい睡眠をもたらす。
運動は日中に。寝る前には激しい運動はやめましょう。夜食もよくないですよ！
- ・ 朝食は、からだどこころのめざめに重要！睡眠薬代わりの寝酒は睡眠を浅く、悪くします！

